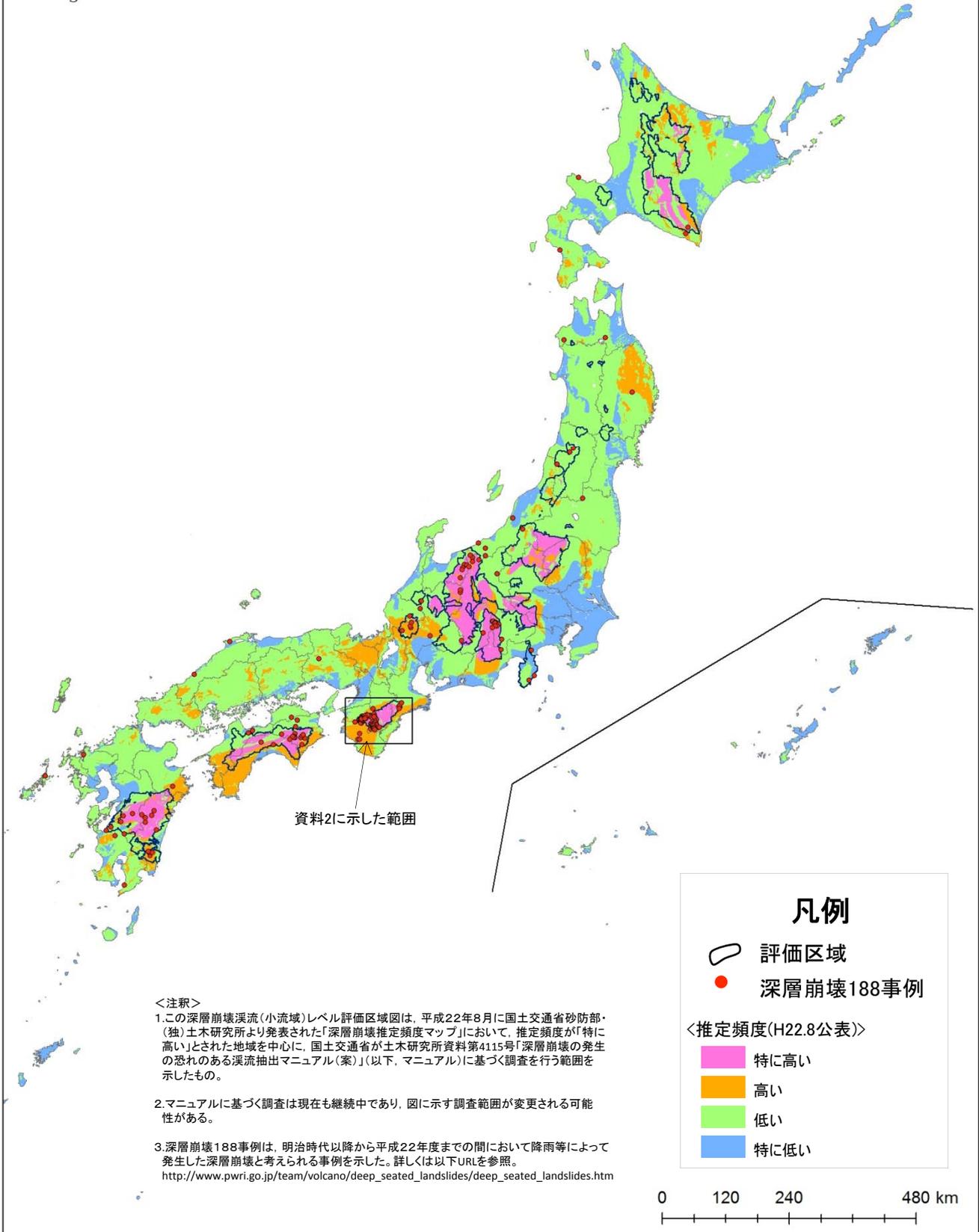


(資料1)



# 深層崩壊溪流(小流域)レベル評価区域図



資料2に示した範囲

## 凡例

- 評価区域
- 深層崩壊188事例

＜推定頻度(H22.8公表)＞

- 特に高い
- 高い
- 低い
- 特に低い

### ＜注釈＞

- この深層崩壊溪流(小流域)レベル評価区域図は、平成22年8月に国土交通省砂防部・(独)土木研究所より発表された「深層崩壊推定頻度マップ」において、推定頻度が「特に高い」とされた地域を中心に、国土交通省が土木研究所資料第4115号「深層崩壊の発生  
の恐れのある溪流抽出マニュアル(案)」(以下、マニュアル)に基づく調査を行う範囲を  
示したものの。
- マニュアルに基づく調査は現在も継続中であり、図に示す調査範囲が変更される可  
能性がある。
- 深層崩壊188事例は、明治時代以降から平成22年度までの間において降雨等によっ  
て発生した深層崩壊と考えられる事例を示した。詳しくは以下URLを参照。  
[http://www.pwri.go.jp/team/volcano/deep\\_seated\\_landslides/deep\\_seated\\_landslides.htm](http://www.pwri.go.jp/team/volcano/deep_seated_landslides/deep_seated_landslides.htm)

0 120 240 480 km